

杭瀬川若森築堤だより

6月号



5月は天候にも恵まれて晴れの日が多く、現場の作業も順調に進んでいます。しかし6月になりますと雨の日が多く、またジメジメした毎日が続く『梅雨』に入ってきます。雨が降れば現場の作業は出来ません。今年の梅雨入りは例年より早いようで、私達にとって工程を管理するのが非常に大変になります。またジメジメしたこの季節で一番に注意しなければならないのは、熱中症にかかる事です。普段外での仕事が多い私達にも、注意しなければならない熱中症は本当に危険ですので、休憩の回数や水分補給といった対策を万全に行いながら残りの工事を完成させていきたいと思ひます。

現在までの進捗状況と6月の施工予定

5月末までに情報管路の敷設が完了し、川裏の張芝も大半が完成しました。現在は、旧陸閘箇所にプレキャスト階段を設置しています。6月の工事予定ですがプレキャスト階段設置完了後に、新堤防天端の路盤を施工していきます。その後、アスファルト舗装の施工を行っていく予定ですが梅雨の時期ですので、工程管理が非常に厳しくなりますが今月も宜しくお願い致します。

伐採木の再利用(桜の木)

杭瀬川左岸の堤防天端に咲いていました桜の木を再利用しようという事で『箸』を製作してみました。伐採した桜の木の幹を小割にして、半年間自然乾燥させます。乾燥させた桜の木を5cm角の長さ50cmにカットします。またそこからしばらく乾燥させて、『箸』の形に削っていきます。そして『箸』の完成。と言いたかったのですが、完成した『箸』は、時間と共に反り曲がったりしてしまい、なかなか真直ぐな形にはなりませんでした。もう少しの乾燥期間が必要なのでしょう。それでも中には綺麗に出来上がった『箸』もありました。

私達が行っている公共工事の中で、少しでも役に立てる事があるとするならば、やはりこのように現場で発生する有機物を如何に再利用させる事が出来るのかだと思ひます。こういった取組みを今後も続けて行きたいと思ひます。

杭瀬川左岸
堤防の桜並木



再利用により『箸』
へと生まれ変わ
りました



現場の情報公開中!!

弊社のホームページより
現場情報が確認出来ます。
携帯電話用QRコード



5月の作業風景 (左岸側 芝付)
張芝状況



目串打込み状況



平面図から見る工事の進捗状況

